

利用者本位のケアのために

「施設」の虐待分析とチームケア

「虐待」とは

身体的

- ・ 外傷を生じる、またはそのおそれのある暴力

心理的

- ・ 著しい暴言、または著しく拒絶的な対応

放棄放任

- ・ 衰弱させるほどの著しい減食や長時間の放置。養護を怠ること

経済的

- ・ 財産の不当な処分、不当な財産上の搾取

性的

- ・ わいせつな行為をすること、させること

環境的

- ・ 衰弱を誘因するような環境に放置、または遇する

施設ケアと施設の虐待の「傾向」

施設ケアの中に「虐待的要素」がないか？

什器・備品類に「虐待的要素」がないか？

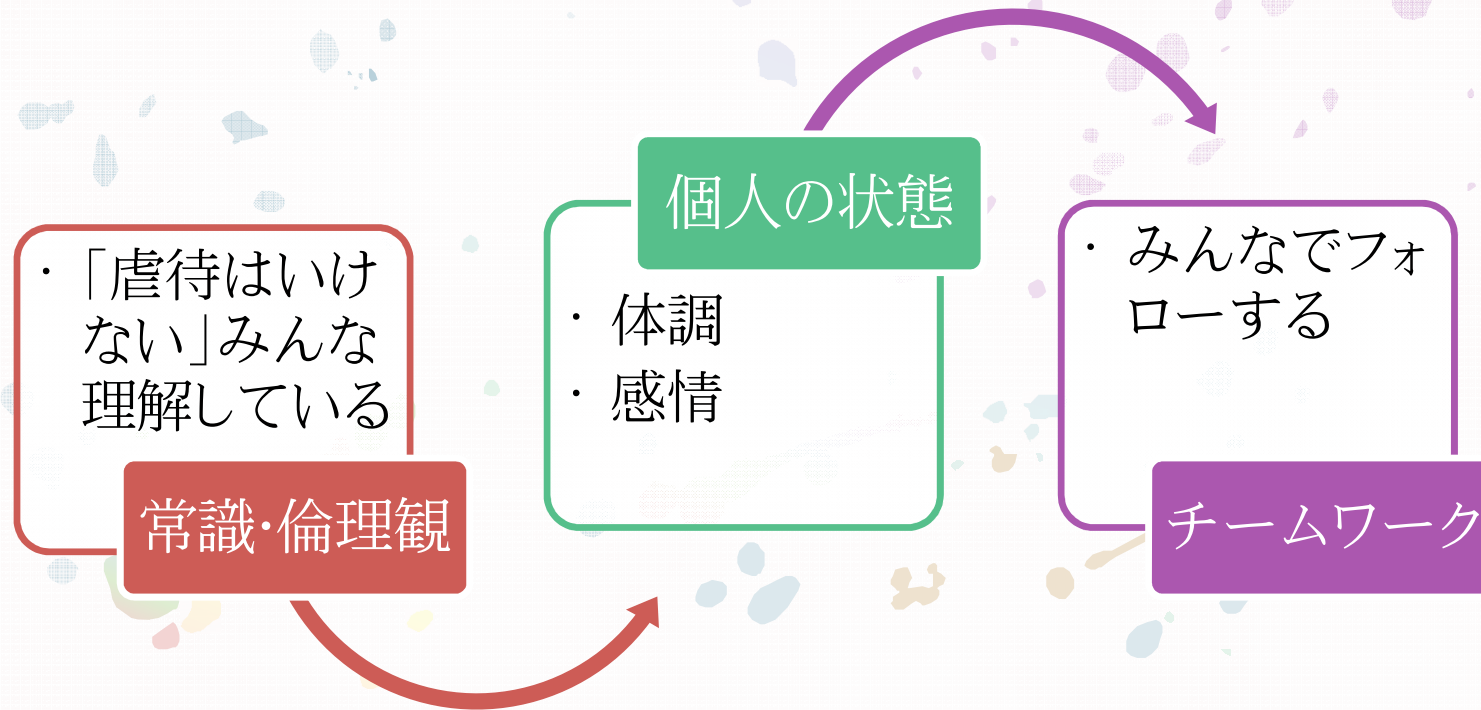
施設の物的環境に「虐待的要素」がないか？

職員の意識に「虐待の芽」がないか？

「虐待的要素」＝「不適切なケア」



情報の共有とチームコミュニケーション



言いたいことが伝えられない
→ 事故につながる

専門職による「虐待」その背景

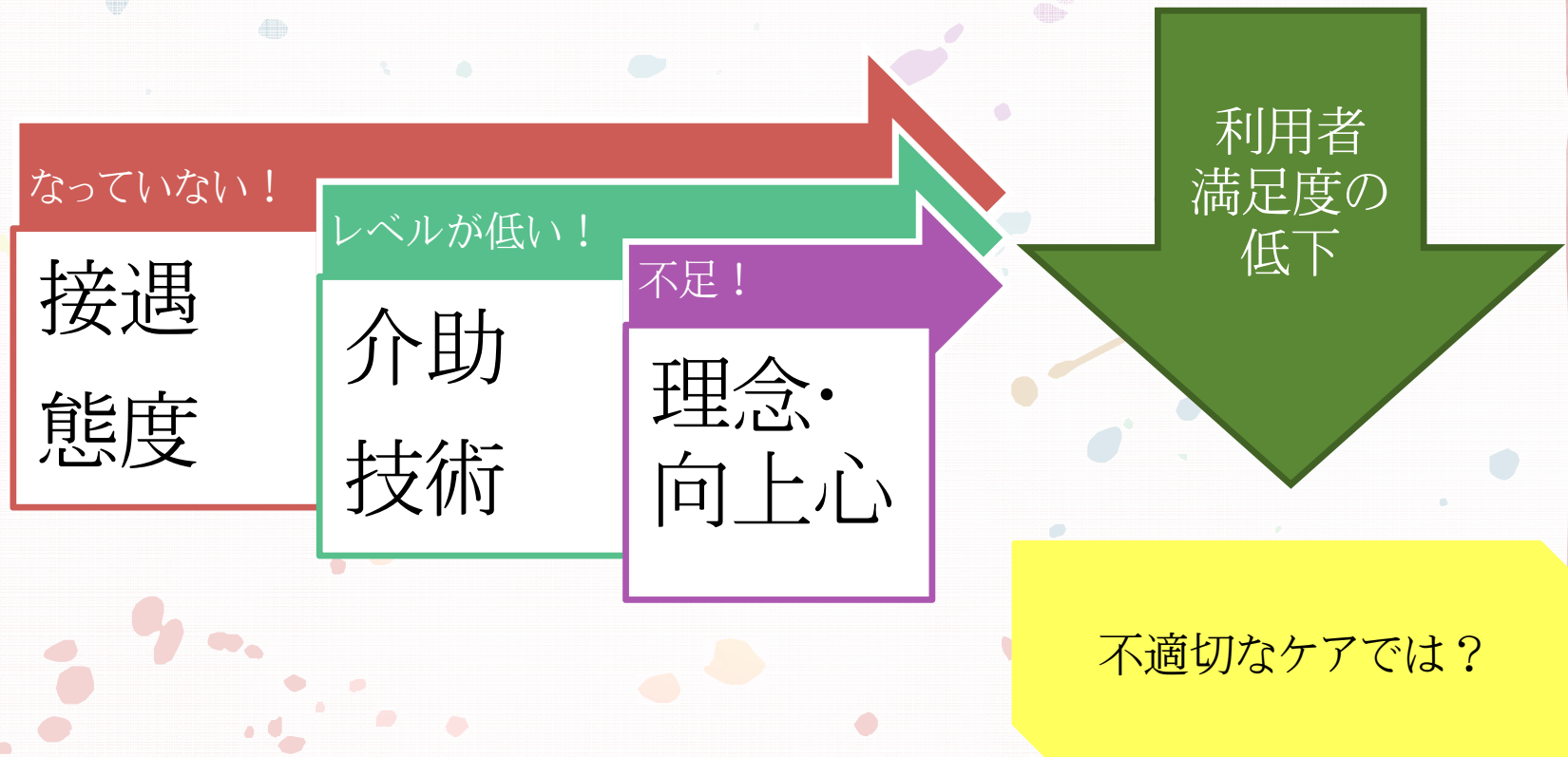
専門職による「心理的虐待」



言葉づかいによる屈辱感を与えていないか？

非言語的態度による屈辱感を与えていないか？

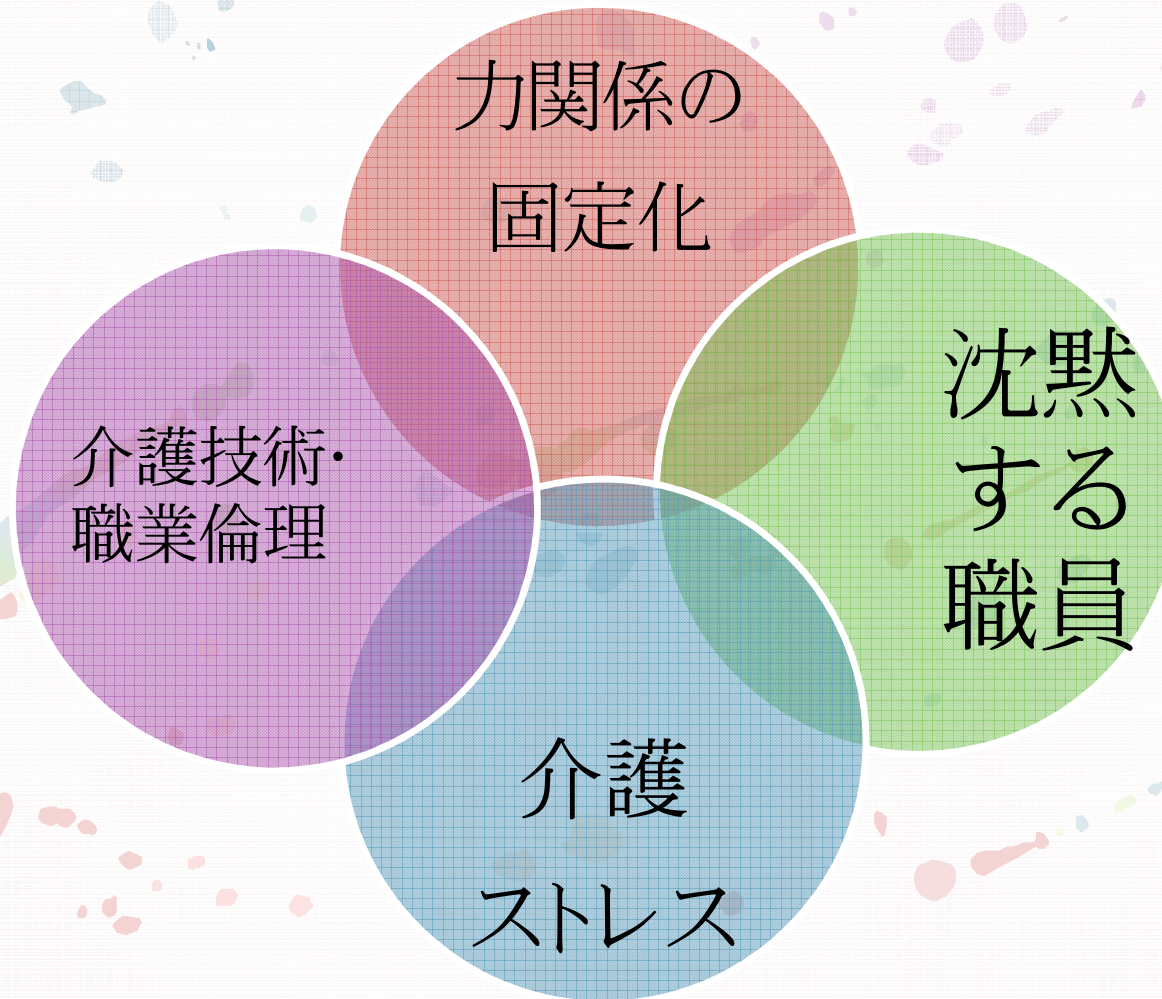
職員のパーソナルエラー



虐待発生要因



職場の背景



職員の問題は？

個別性を
無視

言ったこと
を守らない

介助が乱暴

言葉が乱暴

手順が
でたらめ

感性が鈍い

組織(施設内)の問題は？

利用者間の
トラブル

利用者間の
いじめ

暴言・
パワハラ

セクハラ・
モラハラ

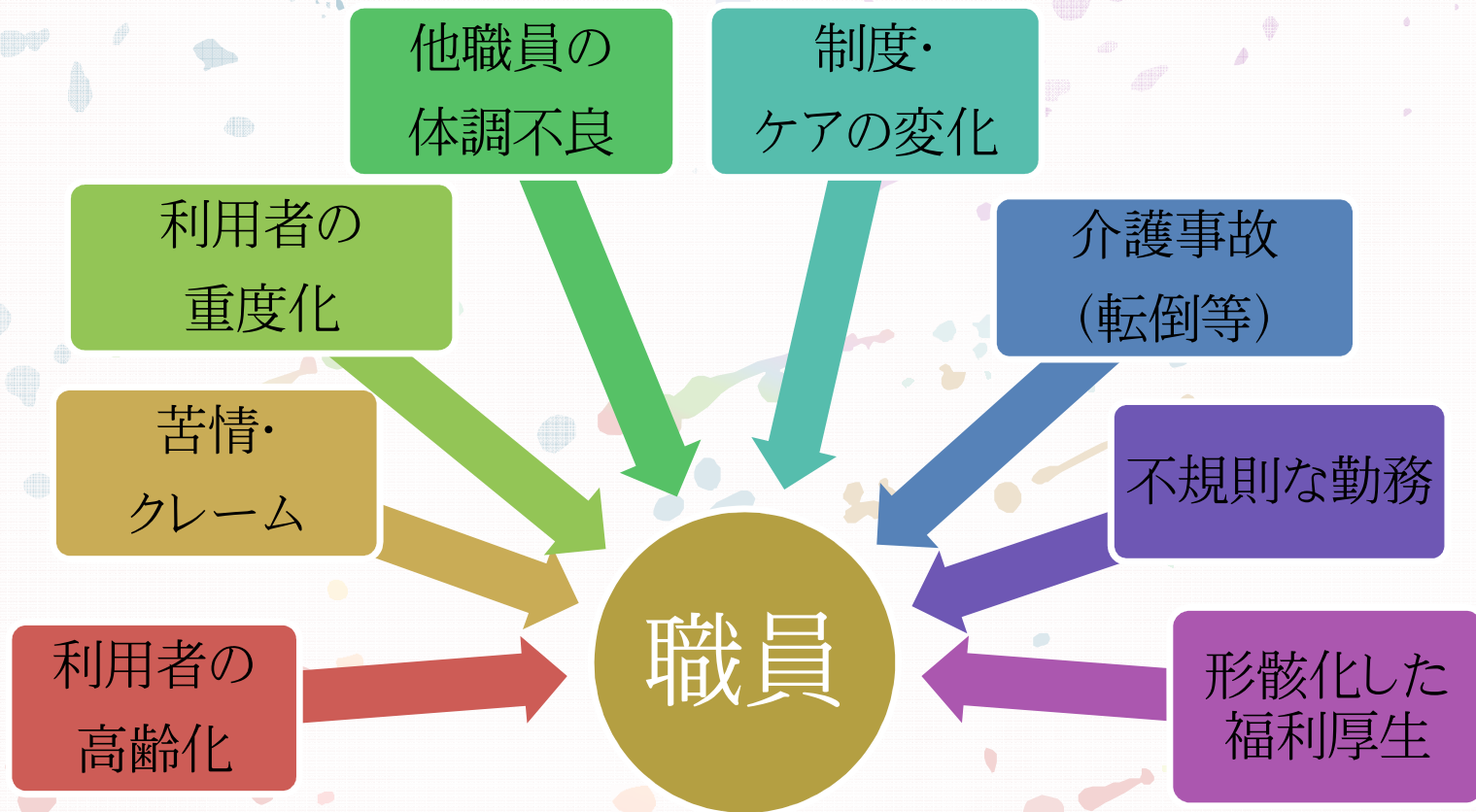
同僚との
トラブル

女性が多い

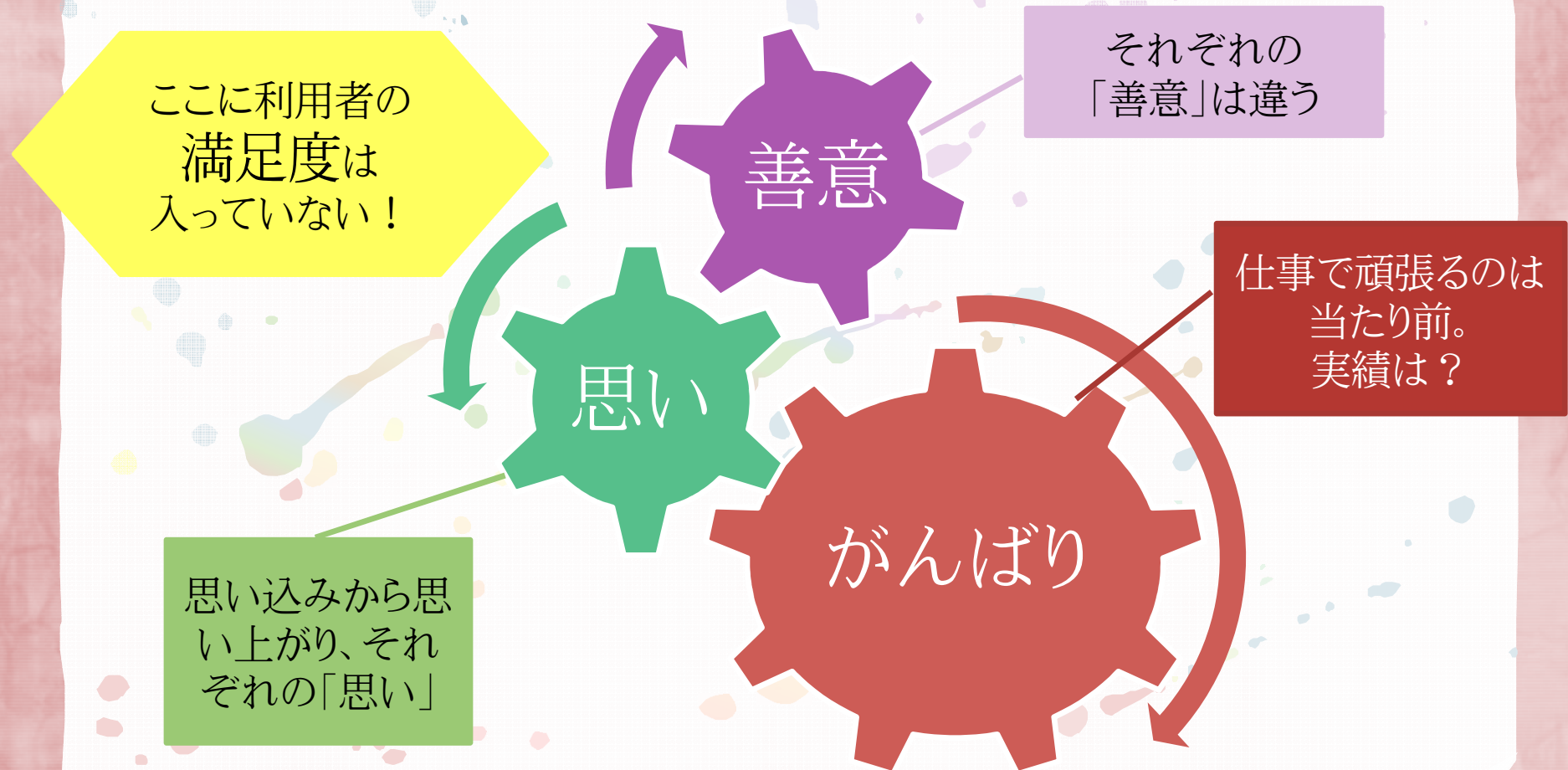
個人の意欲

離職率が
高くなる

仕事上のストレス



職場の人間関係のストレス



「燃え尽き」になりやすいタイプ

仕事のやりすぎ・のめりこみ過ぎ

自己ケアは後回し

自分と他人の比較をする

理想と現実のギャップが大きい

責任感・使命感が強い

個人の主観

利用者の不在

個人的要因(プライベート)



本人の
自己覚知

チームとして機能するために



職員個人のメンタルケアの重要性

自分が良い状態にいること

チームとして機能していること

利用者の満足度の向上

「虐待」をしない、させない

チームワーク
(働きやすい環境)

利用者本位
その人らしさの尊重

個人の状態

個人の資質

ご清聴ありがとうございました

